

特別出演…相模里神楽垣澤社中

後継者育成発表会

令和六年度

小田原民俗芸能保存協会



令和6年11月3日(日)

開場11時30分／開演12時(終演16時予定)

小田原三の丸ホール 大ホール

(小田原市本町 1-7-50)

主催 小田原民俗芸能保存協会

後援 神奈川県民俗芸能保存協会

神奈川県教育委員会、小田原市教育委員会、小田原市

小田原市自治会総連合、一般社団法人小田原市観光協会

入場無料
事前申込不要

【出演団体】※出演順／(カッコ)内は出演予定時刻

小田原市山王原大漁丸建造唄保存会 (12:10)

小田原祭囃子連絡協議会 (12:30)

(小田原囃子狹窪保存会・小田原市役所小田原囃子班)

根府川寺山神社鹿島踊保存会 (13:00)

曾我別所寿獅子舞保存会 (13:15)

小田原ちようちん踊保存会 (13:40)

相模里神楽垣澤社中〔特別出演〕(14:15)

栢山田植歌保存会〔映像出演〕(14:50)

小田原囃子多古保存会 (15:05)

相模人形芝居下中座 (15:30)

令和六年度 小田原民俗芸能保存協会 後継者育成発表会

出演団体の紹介

小田原市山王原大漁木遣唄保存会

出演予定時刻
12:10

山王原大漁木遣唄は名称は木遣唄ですが、大工等が唄う木遣唄とは異なり、元は漁師が網を引き揚げる際、呼吸を合わせるために唄っていた労働唄であり、歌詞には「大漁木遣唄」と「神社仏閣数え唄」の二系統があります。保存会として小田原市東町一丁目～三丁目及び浜町四丁目等で伝承されており、現在は同地域の鎮守である山王神社の祭礼時を中心に市内の祝祭事で披露されています。（小田原市指定無形民俗文化財）

小田原祭囃子連絡協議会

出演予定時刻
12:30

（小田原囃子荻窪保存会・小田原市役所小田原囃子班）

荻窪保存会は、市方神社の氏子町内です。記録によると安永4年に山車が作られ、祭囃子を行うようになり、昭和52年に現在の保存会が発足しました。感染症による休止を経て昨年子どもの募集を再開しました。市役所小田原囃子班は、職員互助会のサークルとして活動しています。班員は全員市の職員で、お囃子については、子どものころから経験している人、大人から始めた人、また年代もまちまちですが、毎年行われる職員文化祭に向け楽しく練習しています。

根府川寺山神社鹿島踊保存会

出演予定時刻
13:00

根府川地区の郷土芸能である鹿島踊と福踊を継承し、後継者を育成・指導していくことを目的に活動しています。鹿島踊は唄と踊り（三役）が難しいため、定期練習日を設定し基本を確認しながら進めています。具体的な活動としては、毎年7月中旬の土・日曜日の寺山神社祭礼にて鹿島踊を奉納し、また、1月に実施する道祖神祭りに福踊を子ども達だけで踊ります。（鹿島踊は神奈川県指定無形民俗文化財）

曾我別所寿獅子舞保存会

出演予定時刻
13:15

『鳴物がお囃子をリズムカルに奏でる中、獅子が勇壮に舞い、時にはコミカルな仕草を見せ、笑い面とヒョットコによるユニークな仕草に笑いも誘う』。このような獅子舞が“曾我別所寿獅子舞”です。私ども保存会は、昭和25年に結成されました。今年度は、一昨年結成されました7組中心のメンバーで出演いたします。（小田原市指定無形民俗文化財）

相模里神楽垣澤社中〔特別出演〕

神奈川県厚木市を拠点に活動し、現代社会では数少ない家元世襲制の神楽社中です。明治45年に創設し、110年以上の長い歴史を築いてきた相模里神楽は、昭和46年に厚木市の無形民俗文化財に指定されました。厚木の山と川のある豊かな自然の中で育まれた、おおらかで躍動感のある芝居仕立ての相模流の芸風を今日に伝えています。

小田原ちょうちん踊保存会

出演予定時刻
13:40

お猿のかごやで馴染みの「小田原ちょうちん」。このちょうちんを後世に残したいとの思いから、ちょうちんを持って踊ることを考案し、現在に至っています。この形状のちょうちんは、どこで作成しても、小田原ちょうちんと言われ、小田原の宝物と感じて、踊り続けています。

栢山田植歌保存会〔映像出演〕

出演予定時刻
14:50

栢山田植歌は、田植えをする女性達が、疲れた時に田植えの調子を取るために歌ったものです。歌詞には、農作業の様子や栢山の風景、鶴や亀のめでたい動物が詠みこまれ、豊作の祈りが込められています。現在、手作業での田植えがほとんどなくなり、田植歌も歌われなくなりましたが、有志により会を結成し、歌い続けています。

小田原囃子多古保存会

出演予定時刻
15:05

小田原囃子の源流は江戸葛西囃子、江戸時代中期に寺町にあった「桐座」で芸人が演奏した葛西囃子を地元の青年衆が習ったものと言われています。曲目は「屋台」「昇殿」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」の5曲があり、基本は祭り本来の明るく勢いのある曲調ですが、哀愁たよう情緒やどこか懐かしさを感じさせる風情のある旋律となっています。（神奈川県指定無形民俗文化財）

相模人形芝居下中座

出演予定時刻
15:30

下中座は江戸時代より小田原市小竹地区に伝わる三人遣いの人形座です。明治末から昭和初期にかけて東京の人形遣い夫婦が小竹に定住し、東京の人形操法を伝えました。そのため東京の人形浄瑠璃の面影を伝えるとして高い評価を受け、昭和28年に県無形文化財に指定され、当時の村名から下中座と命名されました。昭和55年には国の重要無形民俗文化財に指定され、今も活発な活動を続けています。下中座は、地域の小・中・高校で授業や部活動での演技指導を長年続けています。卒業後に入座する者も多く、後継者育成の大きな柱となっています。（国指定無形民俗文化財）

出演予定時刻
14:15

現在、垣澤社中は三代目家元と長女の次期家元を中心に、多くの門下生と共に活動拠点を広げ、様々な活動を展開しています。神社祭礼の奉納公演に留まらず、自主公演も積極的に企画。学校公演のほか海外にも進出して公演を行うなど、新たな神楽の魅力を発信し続けています。（厚木市指定無形民俗文化財）